

森林



ささやき

会員ジャーナル第17号



NPO法人
北海道に森を創る会

2023年1月 発行

特集

地球温暖化と森づくり



見事に咲き誇る未来の森・函館のオオヤマザクラ(エゾヤマザクラ)と
ひっそり実をつけた令和記念の森・八雲のナワシロイチゴ

—木戸口理事撮影—

昨年は、ロシアによるウクライナの侵略が多くの人々の命や生活を奪い、国際社会に暗い影を落としました。

一方、人類の根深い課題となっている地球温暖化について、エジプトで開催したCOP27においてロス&ダメージ(気候変動の悪影響に伴う損失と損害)支援の基金設置が決定し、全人類の足並みが揃いつつあります。

そして、CO₂の方策や研究、実践などに加え、今年札幌で開催される「G7サミットの気候・エネルギー・環境大臣会合」にも大きな期待が寄せられています。

このような状況下、本会でのこれまでの森づくりに関わる活動は、北海道における地球温暖化に寄与するCO₂の吸収源対策としてもクローズアップされつつあると言えます。

そこで、「地球温暖化と森づくり」の関わりについて、当会の活動実績などを添えて取り上げました。

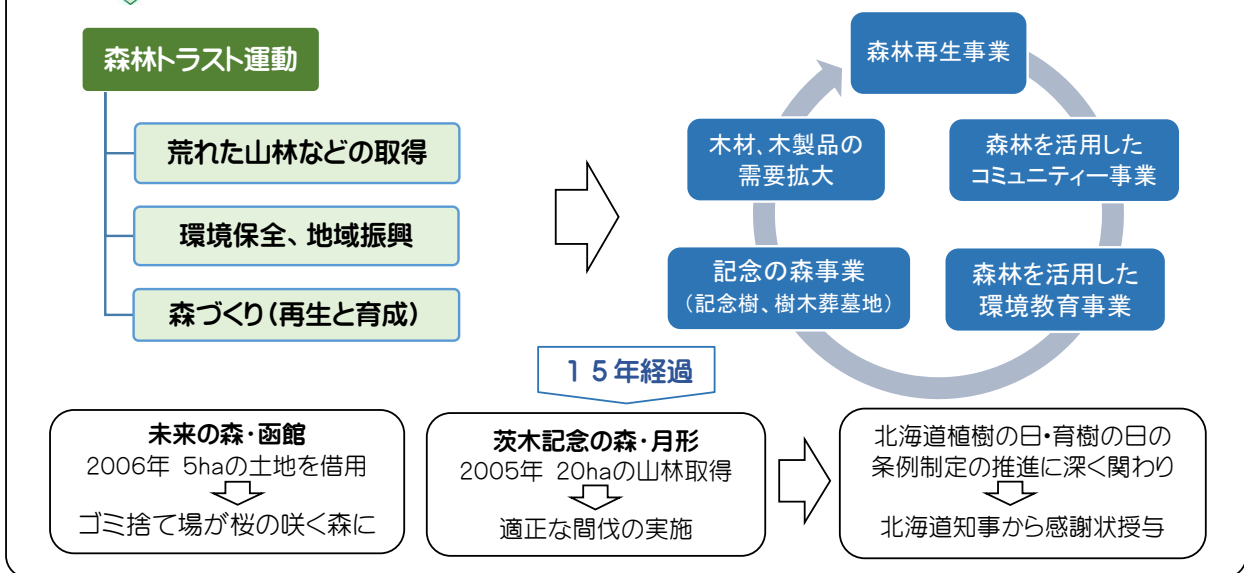


— 私たち（NPO法人 北海道に森を創る会）の原点

子孫からの借物である森を育み 緑も人の心も豊かな北の大地にしよう



— 私たちが取り組んでいること(例)



— 私たちの想いと指針

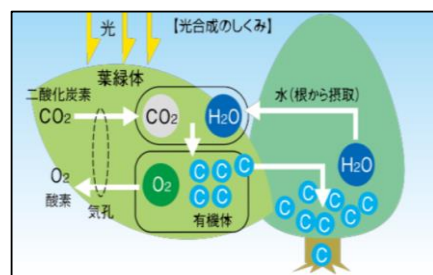
- ① 森を大切にする日本人の心呼び戻す
・将来を担う子どもたちの森づくり
- ② 森は海の恋人、川は仲間
・海の生命(いのち)、川の生命、森の生命は僕たちの生命なんですから(エッセイスト 永六輔さんの一文)
- ③ 森林による経済効果の継承(北海道の森林公益機能により年間11兆円の恩恵)
・水源の涵養(かんよう)、土砂の流出防止、二酸化炭素の吸収など
- ④ 北海道植樹の日、育樹の日を活かした取組み



— 私たちが取り組みたいこと

人類の根深い課題の「地球温暖化防止」に貢献

- ① 森林によるCO₂吸収を目指す仕組みづくり
- ② 北海道をフィールドとした展開
- ③ 官民連携による展開
- ④ 植樹・育樹月間の中核事業としての展開
「植えて育てて豊かな森林を未来につなごう」の実践



出展:農林水産省 Webサイト

令和4年の活動報告

- (1) 通常総会(4月28日開催、28名出席)
* 石子理事長が伊達市で講演した「森林再生と地域振興の道」を放映しました。

(2) 未来の森・函館

① 春の行事(5月20日開催、29名参加)

「コロナを打ち負かそう」を合言葉に渡島振興局や函館サンモリッツくらぶなど、地元の皆さんと協働で冬囲いと獣害防止材の撤去作業などを行いました。

更に、故成田事務局長、故大谷實さんを偲んで記念にナナカマドを植樹し、樹木プレートを取付けました。



故成田政勝事務局長に感謝の念を込めて



故大谷實さんを偲んで有志で記念植樹



コロナにもめげず参加いただいた皆様



すっかり成長した樹木達に春の装いを



冬囲いと害獣防止材撤去作業の様子

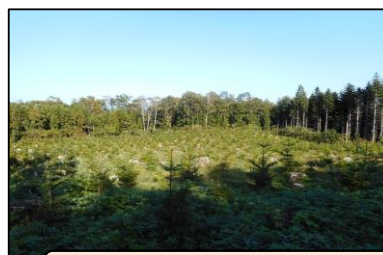
② 秋の行事(10月14日、25名参加)

春の行事と同様、函館支部が主体となり、獣害防止材の取り付け、支柱の設置、下枝払いなどの作業を行いました。

(3) 令和記念の森・八雲の現地確認、調査

5月20日理事6名、10月13日理事5名が参加し、植栽木やスギ人工林の状況を調査し、植栽地の下刈りとスギ人工林の保育間伐を森林組合に委託し、実施することとしました。

なお、10月13日の現地調査には、山越郡森林組合の担当の方も同行しました。



令和記念の森・八雲の全貌と現地調査団のメンバー

(4) 北海道さくらセミナー・2020

6月8日、かでのる2・7で開催、109名参加
本会は実行委員会のメンバーとして参画

(5) だるまさん×C.W.ニコルさん追悼展

11月4日～6日 道新D0-B0Xで開催
「森の心、そして祈り」に参画

令和5年度の主な予定

今年の主な行事予定を紹介します。
詳細が決まり次第、別途ご案内申し上げます。

- (1) 令和5年度通常総会
4月下旬に札幌市内で開催予定
- (2) 未来の森・函館
 - ① 春の行事(5月中旬予定)
 - ② 秋の行事(10月中旬予定)
- (3) 令和記念の森・八雲の現地調査

今後の展望

- (1) 森づくりの取り組み
 - ① 森林トラストによる森づくりの推進
未来の森・函館、茨木記念の森・月形
令和記念の森・八雲
 - ② 森林トラストで取得した森づくりの検討
濱田の森・砂川、茨木の森・ニセコ/壮瞥
- (2) 森林・樹木葬の展開
- (3) 森づくりによる地球温暖化防止の取り組み

トピックス

川西智子理事が「北海道功労賞」を受賞

本会の川西智子理事は、長年にわたる地域林業の振興と発展に尽力された功績などが評価され、北海道のノーベル賞と言われる「北海道功労賞」を受賞し、令和4年11月30日に北海道知事から表彰状が授与されました。

平成18年に7つの森林組合が合併した「そらち森林組合」の初代理事組合長に就任し、全国的にも例の少ない女性の組合長として経営基盤の強化を含む多くの実績と足跡を残しております。

贈呈式には、本会からも石子理事長をはじめ、3名が出席し、川西さんの栄ある受賞を盛大にお祝いさせていただきました。



小雨の中、本会のメンバーと北海道育樹祭に参加



贈呈式の様子と鈴木知事との談話

第72回北海道植樹祭に参加

5月28日 苫東・和みの森(苫小牧市)で木育フェスタ・北海道が開催され、他団体での登録を含む9名が式典に参列し、大勢の参加者と協働で植樹に取り組みました。

◆お知らせ◆

①成田政勝理事(事務局長)におかれましては、令和4年2月20日に急逝されました。長年にわたり 大変お世話になりました。深く感謝申し上げます、衷心よりご冥福をお祈ります。

②令和4年4月より事務所を移転しました。(令和4年4月の総会にて報告済)

<住所>〒060-0004札幌市中央区北4条西5丁目
林業会館301号(北海道森と緑の会と同室)

<Email>moriotukuru@nifty.com
(北海道に森を創る会で検索)

<当面の連絡先>

080-3237-4302(副理事長・安田)

*事務局体制(新事務局長の選任ほか)については、現在検討中です。



NPO法人
北海道に森を創る会



COP27が開催されたエジプトのシャルム・エル・シェイクの山々(ケスム・シャルム・アッシュ・シェイクのシルエット)

編集後記

物事を進めるうえで、礎となる「戦略」とそれに立脚した柔軟な発想の「戦術」とが一体となった取組みが必要と思われます。

日本のプロ野球は、人気のセ、実力のパと言われてきました。中でも地味な印象だった日ハムは、本拠地移転の構想を契機に、興行としての人気拡大に向けた「戦略」の転換が感じられます。

そして、それを取り巻く主な「戦術」として ①新市場として着目した北海道への移転 ②東京オリンピック金メダルで元侍ジャパン監督の稲葉GMと同僚OBでユニークな新庄監督などの新体制構築 ③他に類を見ない斬新な新球場の建設などが実現しました。

昨年は、予定通り?一年間の長いオープン戦の戦術により「最下位でも注目度は一番」を楽しみました。

今年は、早々の優勝宣言や「ファンは宝物」の戦術の下、「新球場で大暴れ」が楽しめそうです。

私たちが進める森づくりも”森を育み、緑も人の心をも豊かな大地に”の「戦略」の下、森林トラスト運動による様々な「戦術」に支えられています。

昨今は、SDGsや持続可能な人類の課題に取り組む方策として、樹木のCO2吸収機能を活用した森づくりを本会の「戦術」にすべく機運が高まりつつあり、本ジャーナルの特集に取り上げました。

今後の展望にお役立ただけできれば幸いです。

<発行>NPO法人北海道に森を創る会事務局
編集担当 岡田隆範